

セラピスト活動報告 —— Therapist

埼玉 - 内科・婦人科でのサウンドヒーリングを組み合わせた治療法

“未来医療への架け橋”／セラピスト 12期生 藤本 梨恵さん



皆さんは音楽を聴いて心が穏やかになったり、元気になったり、涙が出るほど感動したり…という経験がきっとあると思います。「音」は人の心の深いところに直接働きかける作用があり、それを活用し治療に生かしていくのが音楽療法です。音楽療法を学んでいた私が、もっと実際の医療の現場で治療の効果を高められるような音楽療法はないかと模索していた中で出会ったのがサウンドヒーリングでした。

現在、私は埼玉県にあるYクリニックでサウンドヒーリングセラピストとして従事しております。本クリニックでは通常の診療に加え、医師の判断のもと、特に必要と思われる患者様に対しサウンドヒーリングを組み合わせた治療を行っています。患者様の中には身体的症状の中に心的な要因を抱えていることが多く、そのような患者さまに対してサウンドヒーリングは効果的に働くことが出来ます。

最近の事例としては、不眠や不安症状で悩まれている患者様に週1回毎週サウンドヒーリングを実施したところ、回を重ねるごとに顔色や表情がどんどん明るくなり、1か月程で睡眠薬を飲まずとも眠れるようになったという報告を頂きました。また長年認知症のご主人の介護で精神を擦り減らしているという患者様が、施術中に涙を流され、その後穏やかな気持ちになれたということもありました。その他にも腰痛や足のむくみ、生理前のイライラが軽快したなど、いずれもサウンドヒーリングの癒しの効果と自律神経の調整効果、そして解毒作用が患者様を元気にした例です。

病気を治療するには投薬などの西洋医学的アプローチが勿論必要ですが、本当の意味で「治る」には患者様が身体的にも精神的にも健康である必要があり、精神的に健康になることができれば病気の治療効果を高めることができます。また病気以前に、自己の免疫力を高めることにより、自らが病気になりにくい体を作りだすということも重要です。サウンドヒーリングは自らの自然治癒力を高めるための重要なツールとなります。

今後もサウンドヒーリングを取り入れた治療によって、一人でも多くの患者様が心から健康になることを願ってやみません。



静岡 - せせらぎより “やすらいだ平和な心” を

「お元氣保養所 せせらぎ」／ファシリテーター 32期生 指方 美奈子さん

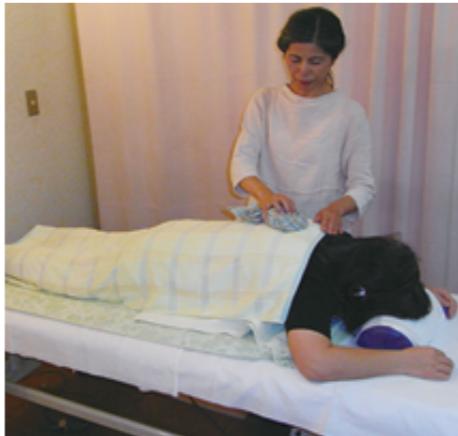


ここ熱海の“お元氣保養所 せせらぎ”にサウンドヒーリングの道具が入り、所長の「サウンドヒーリングの資格取る？」の言葉に、ただ人一倍音楽が好きのみで喜田先生の所へ勉強に行かせて頂きファシリテーターの資格を取得し、早2年6ヶ月が経ちました。

“せせらぎ”に来られるお客様は、身体に何かしらの不調を抱えておられ、サウンドヒーリングの施術をさせて頂いております。初めのうちは皆様から「気持ち良くて涙が出そう」「天国へ行って来たよう」「生まれて初めての体験」と言われ、「そうでしょ！」等と少々得意になっておりました。一年半程前の事、リピーターのお客様で2度目の施術をさせて頂いた男性の方が「指方さん、最近腕上げたね」とおっしゃってくださいましたが、自身では特に自覚は無く何だろうと考えていたら、「ハッ！」と思い当る事がありました。

神奈川 - 針灸治療院でセラピストとして活動

セラピスト 8期生 桜井 重子さん



昨年12月、「針灸・元気アシスト」20周年記念「地球交響曲第7番」自主上映会が山下公園の近くで開催されました。その1週間前、上映会とサウンドヒーリングの宣伝を兼ねて「ハッピーニューライフフェスティバル2011 in横浜ワールドポーターズ」というイベントにサウンドヒーリング無料体験で参加しました。会場には資格、起業、カルチャー、美容などさまざまな業種が集まり、30~50代の女性で賑わっていました。短時間ながら心地よさは十分伝わったようで、24名の方に体験していただきました。そして後日元気アシストに予約をいただくという嬉しいプレゼントもいただきました。

6年前車中で聞いたFM放送がきっかけでトリートメントを受け、今までに経験のない深くりラックスしていく感覚に自分もセラピストになりたいと思いました。元気アシストは針灸治療、アロマ、リフレなどの治療メニューがあり、いずれも針灸師が担当しています。運営を担っている健康づくりワーカーズ“ぱーとなー”(筆者が所属しています)はメンバーから治療家を育てたいという設立当初からの目標があり、今がその時ではないかと直感しました。

ファシリテーター、セラピストと研修を受け、月2回ですがサウンドヒーリングが元気アシストのメニューに加わりました。スタートから2年ほどはサウンドヒーリングを広報することが中心でしたが、定期にお越しただく方も出てきました。

大勢の方にトリートメントさせていただき、すべてはクッションを通して教えていただけることを学びました。クッションを手にすると今でも喜田先生の「ゆっくり。密着させて。」という声が聞こえます。また自分なりのサウンドヒーリングを表現したいと思い、ネパールの女性が作る服をユニフォームとしました。ナチュラルカラーが緊張を解く助けになっていると感じます。お客様を迎える前、プラスの言葉を胸に呼吸を整えていると、サウンドヒーリングを通じて心、体、魂を調和し、未来に希望が持てるお手伝いができる喜びに満たされています。



私は以前、良し悪しに関わらず、物事を流せず全て受け止めてしまう性格でした。その頃、乳ガンとリンパへの転移で2度の手術経験をし、胸の中には黒いものが渦まいていました。それが、サウンドヒーリングを始め、勉強させて頂くうちに、いつの間にか胸が白くなっている事に気づき、「そうか、これだ！」と気づいたのです。そして今迄、黒い気持ちのまま施術させて頂いた事への謝罪と感謝の言葉を天に向って大声で申しました。

その方は暫くして亡くなられましたが、そこまで見抜かれた事への畏怖の念と、私にとっての遺言であったと胸に納め、今も尚、宝物としております。

若い頃から、昼夜無い仕事に追われ色々な事物を犠牲にし、突っ走って来た事を思うと、確かにこれも必然とは申せ、事物への感謝の念を口に出して「ありがとう」と言いながら、心底言っていたのだろうか…と、この年になって思う次第です。サウンドヒーリングに出会い、素敵な方々と出逢えた事により、様々な事に気づきながら変わって行く自分に嬉しくなります。

“せせらぎ”にお越し下さいったお客様の3名様の方がファシリテーター研修を受講されたと聞き、心から喜んでおります。これからも益々“やすらいだ平和な心”を持つ方が増えますよう、お手伝いしたいと考えております。

